

決算報告

令和3年度の町の決算が9月の定例議会に提出され、一般会計、特別会計それぞれ認定されました。

前年度の歳出は、一般会計約48億円、特別会計約27億円、水道事業会計約3億円（収益的支出と資本的支出の計）となり、総額約78億円で様々なまちづくりが進められました。

一般会計歳入

歳入決算総額は52億7815万円で、前年度と比べて9億3215万円、15.0%の減少となりました。

減少となった主な要因は、特別定額給付金の終了など、国庫補助金の収入が大幅に減少したことによるものです。町税は、13億1601万円で、前年度と比べて1739万円、1.3%の減少となりました。町民税及び固定資産税が減少したことによるものです。

国庫支出金は、9億4654万円で、前年度と比べて9億1360万円、49.1%の減少となりました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、特別定額給付金事業が終了したことによるものです。

町債は、令和2年度に、越生駅西口総合案内所の整備、地方税の減収補てん、令和元年東日本台風（台風第19号）による災害復旧工事、防災行政無線デジタル化工事及び越生小学校のトイレ大規模改造工事などの借入れを行ったため、2億5,219万円の減少となりました。

一般会計歳出

歳出決算総額は、47億5389万円で、前年度と比べて11億4002万円、19.3%の減少となりました。

減少となった主な要因は、特別定額給付金事業の終了に伴い、総務費が大幅に減少したことによるものです。

なお、歳入総額52億7815万円と歳出総額47億5389万円の差額5億2426万円は令和4年度へ繰り越ししました。

目的別の主な事業

総務費 ○町勢要覧を新たに作成しました。

○交通手段の確保などを目的にタクシー・バス利用券を交付する地域交通対策事業を行いました。

○防災関連事業として、ハザードマップの作成及び国土強靱化地域計画を策定しました。

○前年度に引き続き地域おこし協力隊を委嘱し、地域力の維持・強化と情報発信に努めました。

○第49回衆議院議員総選挙を実施しました。

○5年に1度となる経済センサス活動調査を実施しました。

民生費 ○越生町障がい者計画などに基つき、障がい者等の自立と社会参加を促進する取り組みを行いました。

○高齢者の自立支援や在宅福祉事業などの福祉サービス

本計画に基づき、児童・生徒の教育力向上や生涯学習を推進しました。

○学校給食費の保護者負担支援策として、小中学校の給食費を6か月分補助しました。

○越生小学校校舎内の水道の自動水栓化及びトイレの改修工事を行いました。

○梅園小学校体育館トイレの改修工事を行いました。

○中央公民館体育館の吊り天井を撤去し、照明をLED化しました。また、トイレの内壁を乾式化し、非接触型トイレに変更しました。

今後、安心元気な越生町を創るために、魅力あるまちづくりと住民福祉の向上のための施策を進めてまいります。

健全化判断比率等

令和3年度決算に基づき、財政健全化に関する比率を算出しましたのでお知らせします。

健全化判断比率および資金不足比率は、いずれの指標も早期（経営）健全化基準を下回り、健全性を示しています。しかし、他の指標である経常

健全化判断比率 (単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
越生町	—	—	4.4	8.9
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

資金不足比率 (単位：%)

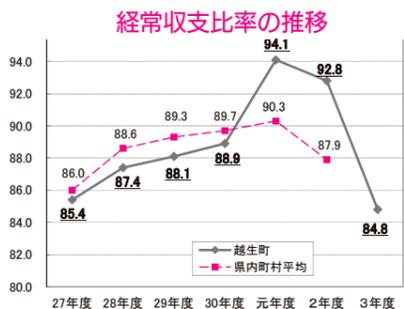
特別会計名称	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	—	20.0
水道事業会計	—	20.0

	歳入	歳出	差引額
総額	85億 314万円	78億2,288万円	6億8,026万円
一般会計	52億7,815万円	47億5,389万円	5億2,426万円
特別会計	29億 937万円	27億4,685万円	1億6,252万円
公平委員会特別会計	25万円	16万円	9万円
農業集落排水事業特別会計	1,993万円	1,903万円	90万円
国民健康保険特別会計	14億8,883万円	14億6,684万円	2,199万円
介護保険事業特別会計	12億4,082万円	11億 399万円	1億3,683万円
後期高齢者医療特別会計	1億5,954万円	1億5,683万円	271万円
水道事業会計	収益的収支 3億1,251万円 資本的収支 311万円	2億7,706万円 4,508万円	3,545万円 ▲4,197万円

水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額4,197万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

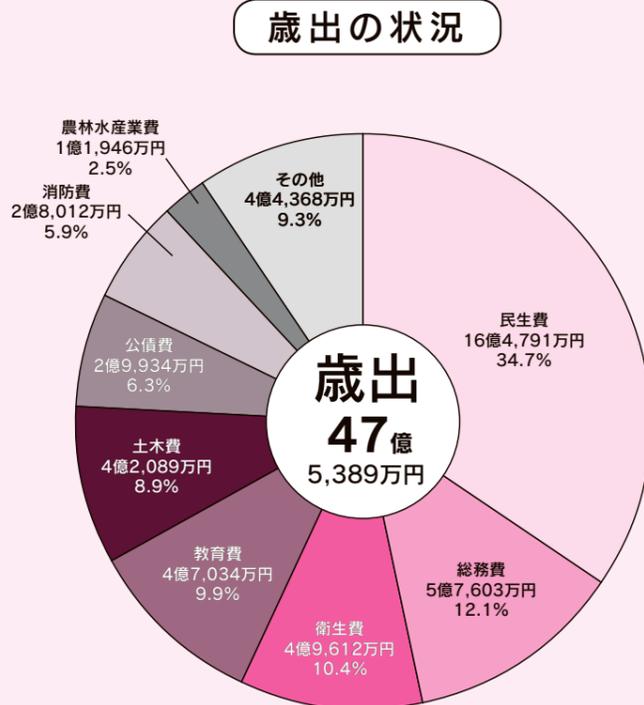
収支比率は84.8%と令和2年度と比較して大幅に改善したものの、これは依存財源である普通交付税や臨時財政対策債が増額した影響によるものであり、引き続き自主財源比率の増加に努め、財政の硬直化に注視していく必要があります。

また、1,000に近いほど財政に余裕があることを示す財政力指数は、0.502と低水準にあり、厳しい財政状況が続いています。



会計別決算

歳出の状況



歳入の状況

